

令和元年度 事務事業評価シート

事務事業名		リバーサイドスポーツセンター維持修繕					所管	教育委員会 スポーツ振興課		
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	60	計画事業名	リバーサイドスポーツセンター維持管理			事業の開始・終了年度		
	長期総合計画体系	[基本目標] あらゆる世代が生涯にわたって成長し輝くまちの実現 [施策] 11 スポーツができる場の充実					[事業開始] 昭和58年度 [終了予定] - 年度			
	根拠法令等	条例・規則	〔法令等名〕		東京都台東区体育施設条例					
	事業対象	直接の対象 : 施設利用者 最終的な対象 : 同上								
	事業目的	施設利用者が安全・快適に利用できるよう、台東リバーサイドスポーツセンターの施設・設備を優良な状態に維持する。								
	事業内容 [H30年度]	台東リバーサイドスポーツセンター施設・設備の維持修繕								
	委託の有無	一部委託	委託内容		野球場照明塔構造検討基礎調査委託 等					
補助金の有無	なし									
事務事業の実績	種別	指標の名称		単位	R2年度	H28年度	H29年度	H30年度		
					目標値	実績	実績	実績	目標値 達成率	
	活動指標	緊急工事数		回	-	9	15	22	- -	
	成果指標	修繕の推進		-	実施	実施	実施	実施	実施 -	
	決算額 (単位:千円)					H28年度	H29年度	H30年度		
						16,425	153,962	36,665		
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト (人件費など)				892		1,257		1,763
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)				9,016		21,039		20,790
		その他のコスト (扶助費・補助費など)				7,409		132,924		15,876
		総経費				17,317		155,220		38,429
財源項目 (単位:千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)				0		0		0	
	その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)				0		0		0	
	一般財源 (区負担額)				17,317		155,220		38,429	
課題及び今後の進め方	体育館、陸上競技場共に建物竣工より30年以上が経過しており、建物の安全性および機能性を維持するため、今後も計画的に維持補修工事を行っていく必要がある。また、来年度には東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の練習会場となっていることから、適切な保全により一層努めていく。									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	3	利用者が安全かつ快適に利用できるよう、施設を適切に保全する必要がある。							
	効率性	3	利用者の安全確保を第一優先とし、事故を未然に防ぐための修繕を迅速に行っている。							
	手段の適切性	3	指定管理者との連絡を密にし、修繕が必要となる箇所を早期に発見することで、専門業者へ迅速に修繕を委託することが可能となっている。							
目的達成度	3	施設利用者が、安全かつ快適に施設を利用することができるよう、随時、点検・修繕を行っている。								
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性				
リバーサイドスポーツセンターは、総合体育館であり、多くの区民が利用している区のスポーツの拠点であることから、施設を安全かつ快適に維持する必要性が高い。このため、引き続き計画的な保全を実施しながら、突発的に発生する施設の不具合に対しても適切に修繕していく。						維持		拡大改善 維持 縮小 廃止・終了		